

2020年4月17日
No. 20-115
株式会社 伊予銀行

「預り物件管理システム(CUBE)」を導入します！

～お預り物件の授受が電子サインで完結し、利便性向上と業務効率化を実現～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、Windows 端末等を活用した「預り物件管理システム(CUBE)」を導入しますので、下記のとおりお知らせいたします。

従来は、訪問等でお客さまと現金や通帳等の授受をする場合、当行所定の帳面へのお預り内容の記載や受領証の交付、お客さまのサイン・押印が必要でした。また、一部の現金・有価証券等の授受では、当行またはお客さまが印紙を貼付する必要がありました。

このシステムでは、行員がWindows 端末にお預りした物件を入力し、お客さまがその内容確認と電子サインをするだけで授受が完結でき、帳面への記載や押印、印紙貼付等が必要なくなるため、利便性向上や費用負担軽減、ペーパーレス化につながります。

行員間の預り物件の授受は、QRコードを活用して行うため、今まで必要だった各種授受簿への記載が不要となります。また、お預り物件の手続き状況や返却日等の情報が行内システムで一元管理され、一目で確認が可能となることから、定期的な点検業務も簡素化され、大幅な業務効率化が図れます。

記

導入日

2020年4月20日(月)

名称

預り物件管理システム(CUBE)

Customer s Useful system By Electronic signatures の略

対象のお手続き

- ・営業係等が訪問の際に受付したお手続き
- ・銀行窓口で受付した面前で完結しないお手続き

導入効果

- ・お客さまと当行の印紙貼付が不要
- ・預り物件情報の一元管理による保管および点検業務の大幅な削減
- ・行員間の授受にQRコードを利用することで、各種授受簿への記載が不要
- ・紙の受領証や各種授受簿の廃止によるペーパーレス化 など

以上